

第15回かがわ型グリーン・ツーリズム体験ツアー 「小豆島で田植えとオリーブクラフト体験ツアー」が開催されました。

かがわグリーン・ツーリズム推進協議会の主催により、標記ツアーが平成25年6月1日(土)小豆島町で開催され、7組20名の方に参加いただきました。

小豆島ふるさと村では、島の特産であるオリーブの木を使ったクラフト体験を行い、参加者は、講師の助言を受けながら、枝の選択、組立から穴あけ、接着等を行い、思い思いに素材の味を生かした作品を制作しました。制作時間は約1時間、大人も子供も真剣に作業し、完成時の達成感を味わって頂いたようです。



昼食は、中山にある『こまめ食堂』で、島の食材や地元米の定食を食べ、その後、中山千枚田を散策しました。

日本の原風景が残るといわれる千枚田の風景に、参加者は感心し、今年、芸術祭のために製作された「小豆島の光(竹の家)」の周辺まで歩きながら、田植え時期の水田の様子を満喫されました。また、子供たちは、小川を流れる清水や沢ガニの発見に目を輝かせたり、農村の風景を守っている農家への感謝の言葉がでてくるなど、ここでの散策は強く印象に残ったようでした。



午後は、「安田の郷」と呼ばれる米どころで、米農家「東條地域農業集団」の指導のもと、田植え体験を行いました。今回、参加者は田植え体験への期待が高く、古郷会長の説明後、泥に戸惑いながらもすぐに田へと足を踏み入れていきました。約1時間、休憩なしの体験で、慣れない足元に苦労しながらも、会長の掛け声で皆で一列ずつ丁寧に苗を植え終え、一枚の田を全て自分達の手で植えた達成感がとても良かったという感想が多く聞かれました。

また、今回の田が10月の収穫祭で収穫される話を聞いた参加者から、ぜひ、また島へ来たいので案内してほしいという声が積極的に出てくるなど、次の交流にもつながりました。東條地域農業集団からも張り合いができたという感想があり、農山漁村の魅力を伝えられる体験ツアーになったように思います。